

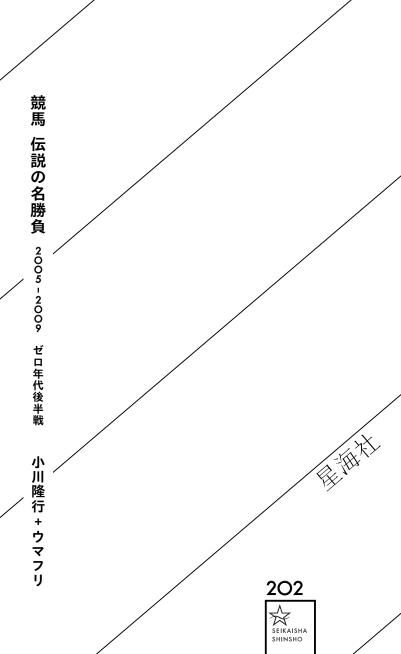
競馬 伝説の名勝負 ------ 2005-2009 ------

ゼロ た 後半戦

史上最強馬が

見せた衝撃のレース

不滅の記録をターフに刻んだ 名馬たちの熱き戦い〈全26レース〉



予想でも膨大なデータを扱ったものが登場するようになった。 競馬の楽しみ方も大きな転換期を迎える。インターネットで情報を集めることも容易くなり、 口年代後半。個人が、掲示板やブログで自らの声を気軽に発信できる時代が到来した。当然、 インターネットの普及により、エンターテイメントそのものの在り方が変化していったゼ

2005年、ディープインパクト、三冠達成。しかし競馬の本質的な魅力は、大きくは変わらない。

不世出の名馬の登場に、世間は大いに酔いしれ、熱狂した。

ッカ、ダイワスカーレット、ブエナビスタら歴史的名牝の登場に心を奪われた煌びやかな時 名馬が人気に応えた時。伏兵が大物を撃破した時。人々は何を思い、何を語り合ったのか。 さらにはカネヒキリ、ヴァーミリアン、フリオーソらが君臨するダート界に熱中し、ウオ

緒方きしん

代。ゼロ年代後半の競馬界を、共に振り返ろう。

2005年ジャパンC アルカセット

ハイレベルなレースを制した外国馬と

善戦ホース・ハーツクライの成長 30

はじめに 3

飛ぶように走った無敗三冠馬 2005年 9

第1章

ディープインパクトが負けた日

世界レベルのグランプリ 10

2005年オークスシーザリオ 語り継がれる、驚異の末脚 未来へと続く開演の合図 18

2005 * 秋華賞 エアメサイア

母の悲願を叶えた孝行娘

名手と名伯楽を照らした秋の輝き 24

コラムー 特別寄稿 吉川良

ハンパないショックをくれた「神さまたちの神さま」 36

競馬ot 05年以降に増えてきた

同一重賞の連覇記録 40

第2章

史上最強馬のラストラン 2006年 4

2006年 有馬記念 ディープインパクト

失意の凱旋門賞から甦った史上最強馬 42 天才の落胆、そして薬物騒動

2006# 桜花賞 キストゥヘヴン

1カ月後に制覇した桜花賞 5C 4戦目に未勝利戦優勝の遅咲き馬

2006年 ヴィクトリアマイル ダンスインザムード

淑女として女王に返り咲いた"天才少女" 56 少女はいつか大人になる

2006年 オークス カワカミプリンセス 15年を超えるPOG歴で

勝たせてくれた親子のコンビ 62

2006年日本ダービーメイショウサムソン

人馬ともに叩き上げ

寡黙な職人コンビが成し遂げた大仕事 68

菊花賞 ソングオブウインド 秋の京都で武幸四郎と奏でた「風の歌」 74 三冠を阻止した伏兵馬は夏の上り馬

ワァ42 座談会 移り変わる競馬界を振り返る ∞ インターネット普及と、紙媒体の変化 歴史的名馬、ディープインパクトの誕生

> 競馬で2 三冠達成能力を持っていた 二冠馬メイショウサムソン &

2007年日本ダービー ウオッカ

第3章 ダービーを選んだ史上最強牝馬 2007年87

記憶にも記録にも残る名チャレンジャー 88 64年ぶりの偉業達成

2007年皐月賞 ヴィクトリー 後続の有力馬を慌てさせた逃げ戦術

人気急落馬がみせたゴール前の粘り 96

2007年 ヴィクトリアマイル コイウタ 芸能人馬主の初GI制覇!

鞍上が示した自信通りの勝利 22

2007#宝塚記念 アドマイヤムーン

岩田康誠の中央移籍後初GI制覇 108 不動の王者・武豊にライバル現る

2007年 有馬記念 マツリダゴッホ

2008年日本ダービーディープスカイ

大外一気でダービーを制覇 140

6戦目で初勝利の遅咲き馬が

コース巧者が巻き起こした年の瀬の大波乱 14「祭」の主はサンデーサイレンス最後の世代

『343 馬主の経済学と成功確率 120

qoom# ジャパンC スクリーンヒーロー

種牡馬となっての大活躍 46

しジェンド武豊のGI勝利数 124mm

夢の扉を開けた天才牝馬 2008年 125

信念の逃げで37年ぶりの快挙達成 26 美しく、気高く、そして神々しく アイワスカーレット

地方からやってきた泣き虫騎手

「若き女王」とともに、悲願のGI初制覇 134

200m年 ジャパンCダート カネヒキリ 屈腱炎を克服、再びダート王に I52

名馬の調教を担当して至った境地 158『勝ちたい』を捨て、ダート最強世代へ挑む

地方の雄、フリオーソの調教を担当して

「ホースニュース・馬」 62 競馬**で4** 休刊に追い込まれた競馬専門紙

情熱を呼び起こしてくれた馬 72 「競馬を仕事にしたい!」

| 「状態はいい」――感触通り大穴激走 178 | 一戦ごとに成長の大器晩成馬 | マイ・イルキッツ | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 | 178 |

追う者の意地か、追われる者の執念か アエナビスタ

雪辱と二冠達成の狭間で 184

伝説の新馬戦、最後の刺客

あがり馬の大激走 190

2009年 天皇賞・秋 カンパニー

GI戦線「激闘譜」&データ 203

年度別

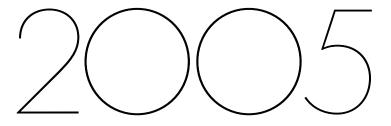
おわりに 219

執筆者紹介 222

写真 フォトチェスナット、日刊スポーツ新聞社

のデータは2021年9月末日現在のものです。ない限り、その時代の表記としています。各馬

本書における競走馬の年齢表記は、特に断りが



2005年有馬記念

ディープインパクトが負けた日

世界レベルのグランプリ

なの ぶり出すという画期的なものだった。競馬には必ず流れがある。 れぞれが考える。 るレースといないレースでは有利なポジシ 大川慶次郎, か ハ イペ 氏は、 ースなのかを推理することで、 いわば常識といってい 予想ファクターに展開を持ち込んだといわれる。 ر\ د 3 レース ンは大きく異なる。 の流 れを読み、 先手を奪いたい馬 展開予想は今では 有利な馬、 これ は V 不利 1 Ż み な馬 が が 複 んなそ ス 数 をあ 口 Ì

れを支配できる者が勝者に近づく。 れ れを味方につけられるのは差し馬ではなく、 でなにかを起こせるとすれば、 さに天を仰ぎたくなる。 ゆく。 競 馬 はなにが起こるかわからない。自信の展開予想も逃げ馬が出遅れ 控えると考えていた馬が折り合いを欠きながら先行集団にいたとき、 なにが起こるかわからないからこそ、 それは先行馬であるといわれる。 先行馬には 先行馬なのだ。 レースの支配者になりうる可能性が なにかが起きる。そして競 競 為 に れば、 流 れが ねるる 自分の浅 その時点で崩 ~ある。 以上、 は 流 馬

*大川慶次郎 パーフェクト予想を4回達成、「競馬の神様」と称された競馬評論家。明治時代の実業家・渋沢栄一のひ孫

シン 人々を魅了した。 したレースが有馬記念だった。ファン投票は16万票を獲得、 の直線で飛 20 ボ リル 05年の競馬界は一頭の英雄一色に染まっていた。 ぶようなフットワークで前にいる馬をすべてかわす、馬名の通り衝撃的な競 F jν . フ以来2頭目の無敗の三冠馬である。 どのレースも序盤は後方を進み、 同世代との戦いを無敗で終えたディープインパクトがこの年、 その名は、ディープインパクト。 単勝オッズ1・3倍、 最後に出走 この年のフ 最後 馬

クラ 止まらな イがが Ų١ た。 ハー これまでのディープインパクトのレースでは止まってみえるはずの先行 ツクライはディープインパクトが経験したことのない力で抵抗し、ゴ ーール 馬が

ィナーレはだれもがディープインパクトがしめるものだと信じていた。

ゕ

最後

の直線、

いつものように末脚を伸ばしたディープインパクトの前

に

は ハ

ノーツ

負け 板で見事 るはずがな に封 じ込めてしまった。 ٧V 英雄 の敗戦を受け入れ ファンは一 るためには 瞬、 金縛りにでも遭ったか 時間が必要だったのだ。 のように自失した。 まして差し馬ハ

ダービーでキングカメハメハに及ばなかったように、後方から追い込むも一歩及ばず2着′ ら2着など、ディ ーツクライが ーツクライの勝利には伏線があった。 先行していたこと自体が信じられなか ープ インパクトのひとつ上の世代を代表する末脚自慢だった。だが、 ハー ツクライは日本ダービー4コーナー17番 った。 手か

* 短期免許 JRA に所属していない外国人騎手に 1 カ月単位で交付する免許制度

これがGIで3度もあり、

無冠のまま4歳秋を迎えていた。陣営は秋シーズンを短期免許で

るかに凌ぐ脚色で迫るも2着。この競馬でルメール騎手は確信したにちがいない。 来日したクリストフ・ルメール騎手に委ねた。緒戦の天皇賞・秋はスローペースも手伝 いつもより前の中団から末脚を繰り出すも6着。続くジャパンCでルメール騎手は前走を踏 タップダンスシチーが作るペースを読み、ハーツクライが得意とする後方待機策 馬群に突っ込みながら追い込んでみせた。 ただし、これまでの大外強襲ではなく、 距離 ゴール前では先頭に立つアル ロスを減らすべく、4コー カセットをは ナーでインを ハ 1 ・ツク に戻

利は 末脚に対抗するためにハーツクライにどんな競馬をさせればいいのか。 ライは馬群に入っても最後まで末脚を使えると。 そして有馬記念。 ない。ルメール騎手は戦略を練った。舞台は中山芝2500m、ディープインパクトの もはや相手はディープインパクト一頭。この馬を負かさないことには勝

3コーナー手前のゲートを出たハーツクライは、後方に下がらず、好位にとりつく。ルメ

抜ける。 かすための秘策だった。追い込みが定位置のハーツクライが正面スタンド前を3番手で駆け 大歓声。しかし、 ール騎手の選択は積極策。天皇賞・秋、ジャパンCから導き出したディープインパクトを負 16 パクトが4コ 「万人を超える観衆でむせかえるスタンドがこの違和感にざわつく。それでもディ ルメール騎手はディープインパクトが外から追いあげる、この瞬間を待っ ーナーで先行集団の真後ろにやってきたときには、 これぞディープと

ていた。ここしかないというタイミングでハーツクライにゴーサインを送り、 先頭に立つ。

違い、 大観衆の絶叫が、たった310m デ ィープなら届く、届くよね、届くでしょ、届いてくれ。いや、届かない―― 先に抜け出したハーツクライとの差を詰められないディープインパクトは、最後 の中山の直線で激しく交錯する。これまでのレースとは

ば、 不可能を可能にできる。これをあまりに鮮やかに証明したレースだった。

色が同じになってしまい、はじめて前にいた馬を取り逃がした。競馬ではペースを支配すれ

は 脚

線の最高峰であるキングジョージ6世&クイーンエリザベスS3着。ハーツクライは世界を ボードらを相手に先行してノーステッキで4馬身差圧勝。 とを我々は翌年に知らされる。3月ドバイシーマクラシックでは欧州年度代表馬のウィジャ ハーツクライとルメール騎手があげた大金星はフロックでもなんでもなく、 7 月、 英国へ渡り、 実力だったこ 欧州中距離路

発させたハーツクライ。 ハーツクライは古馬になって覚醒する。 デビュー か ら圧倒的な強さで魅了したディープインパクト、4歳秋に秘めていた能力を爆 有馬記念は世界に通用する2頭の成長曲線が交差したレースだった。 この言葉はのちにシュヴァルグランやリスグラシュ

などの産駒たちに受け継がれる。

席巻した。

(勝木淳)



人馬ともステップアップにつながる貴重な勝利。無敗馬ディープをわずかに退けた。

母アイリッシュダンスは新潟記念など JRA9 勝。デビュー時から 期待された素質馬だったが、クラシックは皐月賞 14着、日本ダー ビー2着、菊花賞7着。日本ダービーで見せた末脚から秘める能 力を証明するも、追い込み一辺倒の競馬のため展開に泣き、前に いる馬を捕えきれない。4歳春もスイープトウショウが勝った宝 塚記念2着など歯がゆい競馬が続いた。しかし、4歳秋の終わり に覚醒。これまでのイメージを覆す先行策で頂点へ。産駒もリス グラシューのように父に似た成長曲線を描き、古馬になって強く なる馬が多い。21年、種牡馬引退が発表された。

ハーツクライ

性別牡

毛 色 鹿毛

生 業 2001年4月15日~

サンデーサイレンス

母 アイリッシュダンス(母父・トニービン)

調物節 橋口弘次郎(栗東)

生涯成績 5-4-3-7

獲得賞金 9億2536万円

勝5鞍 有馬記念 ドバイシーマクラシック 京都新聞杯

第50回有馬記念(GI) 芝右2500m 晴 良 2005年12月25日 9R

着順	枠番	馬番	馬名	性齢	斤 量	騎手	タイム	着差	灵人
1	5	10	ハーツクライ	牡4	57	C.ルメール	2:31.9		4
2	3	6	ディープインパクト	牡3	55	武豊	2:32.0	1/2	1
3	7	14	リンカーン	牡5	57	横山典弘	2:32.2	1.1/4	6
4	2	4	コスモバルク	牡4	57	五十嵐冬樹	2:32.4	1.1/4	10
5	7	13	コイントス	牡7	57	北村宏司	2:32.5	1/2	16
6	4	7	ヘヴンリーロマンス	牝5	55	松永幹夫	2:32.5	クビ	8
7	1	2	サンライズペガサス	牡7	57	田中勝春	2:32.7	1.1/4	9
8	2	3	ゼンノロブロイ	牡5	57	K. デザーモ	2:32.8	クビ	2
9	4	8	グラスボンバー	牡5	57	勝浦正樹	2:32.9	1/2	11
10	3	5	スズカマンボ	牡4	57	安藤勝己	2:32.9	クビ	7
11	8	15	デルタブルース	牡4	57	0.ペリエ	2:33.0	3/4	3
12	5	9	タップダンスシチー	牡8	57	佐藤哲三	2:33.3	1.3/4	5
13	6	12	ビッグゴールド	牡7	57	柴田善臣	2:33.6	2	14
14	6	11	オペラシチー	牡4	57	中舘英二	2:33.7	クビ	13
15	8	16	オースミハルカ	牝5	55	川島信二	2:33.8	1/2	12
16	1	1	マイソールサウンド	牡6	57	本田優	2:34.3	3	15

第 50 回



父

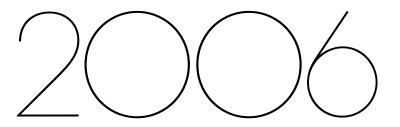
(母の父



日刊スポーツ新聞社

無敗の三冠馬が参戦、お祭りムードの一戦に

ここまで無敗のディーブインパクトが古馬と初対決。印もズラリと◎が並ぶ楽勝ムードだった。武豊騎手や池江調教師からも、古馬との対決に強気のコメントが飛び出るほど。紙面でも、すでに翌年の海外遠征にまで言及されっていた。一方のハーツクライはデキの良さが強調されつつも、中山競馬場への不安視から3~4番手評価。ディープ以外で唯一◎がついていた8歳のタップダンスシチーはこれがラストランで、結果は12着。



イープインパク 天才の落胆、そして薬物騒動

失意の凱旋門賞から甦った史上最強馬

せた。 馬の悲願を達成する、その瞬間を目にしたい、と多くのファンがNHKにチャンネルを合わ であり、 ンが熱い視線を注いだ。現在と異なり馬券は買えなかったが、日本競馬史上最強馬 イクを向けられた武豊騎手は、 よくわかりません」 2006年10 近年こそフジテレビの番組内で中継をされているが、当時はCSのみの放送がメイン NHKが中継するのは、 月1日深夜。 確か、こんなコメントだったと記憶している。 凱旋門賞に出走したディープインパクトに、 一言だけ語ると、立ち止まることなくその場を後に ファンの期待の表れだった。 日曜深夜の放送における視聴 合田直弘さんに 日本中の競馬 が日本 ファ 競 7

ディープより3・5キロ軽いレイルリンクが先頭でゴール。外のプライドにも交 決して早仕掛けではない。「勝てる!」と多くのファンが声援を送 先頭に立ったディープインパクトの鞍上・武豊 は追 い 出 L * 合田直弘 海外競馬評論家。通称「世界の合田」。 ムのセリ市の司会なども務めている

率は

16

パーセントを超えてい

る。

直

に入り、

残り300m

た次の瞬間、

手ごたえは十分。

社台ファー

わされ、まさかの3着に敗れた。

デビュー以来、後方から来た馬に差されたのは初めてだった。ゴール直後の、武豊の落胆

ぶりは生半可ではなかった気がする。 冒頭の受け応えはレース直後のものである。普段の笑顔はまるでない。顔色は青ざめてい

る。「ユタカスマイル」とは正反対の「今は何も語りたくない」という感情が読み取れた。 この原稿を書くためにレースVTRを見直したが、武豊の騎乗ぶりにマイナス点など感じ

られない。敗因は、一瞬の仕掛けのタイミングによる勝負のアヤ。そんな気さえする。 レース前、武豊は次のようなコメントをしていた。

が凱旋門賞に出るのは、そんなにすごいことじゃないですから。ここまで強くなって、 「今回ぼくは凱旋門賞に挑戦するのではなく、凱旋門賞に騎乗するんです(中略)。ディープ

だけブッちぎって勝ちまくったら、当然、次はもっと大きな舞台へ…となるじゃないですか。 (『ありがとう、ディープインパクト』島田明宏著・廣済堂出版刊より) こんな馬、日本にいなかったでしょう。もしかしたら世界にもいなかったのかもしれない」

普段の年と異なり少頭数(9頭立て)となったのは、他馬が勝てないと感じたからかもしれ

ない。事実、フランスギャロの最終オッズは1•5倍だった。 レース後、時間が経過すると、武豊は「いつもの走りではなかった」と語った。ディープ

インパクトでさえ勝てない。日本のファンは改めて凱旋門賞という壁の高さを感じた。

の2戦で有終の美を飾るという内容は、私を含む多くの競馬マスコミが予想した通りだった。 ースから10日後、ディープインパクト引退のニュースが流れた。ジャパンCと有馬記念

さらに8日後。予想だにしないショッキングなニュースが流れてきた。ディープインパク

トの体内から禁止薬物が検出されたというのだ。

能力を高めるとは認められておらず、「不注意による投与ミス」となった。 干し草をレース前にディープが食べたのでは」という内容だった。イプラトロピウムが競走 ム(禁止薬物)による吸入治療をした」と弁明書に記した。「吸入中に暴れた直後、付着 調教師の池江泰郎は「9月に咳込んだ際、フランス人獣医師の処方によりイプラトロピウ

ここからは私見だが、ディープ陣営は決して悪意のある不正などしていない。簡単な話、

は凱旋門賞の疲労。もう一つは、世界最強とみていたディープについたアヤである。 そんなことをせずとも勝てる見込みが十分にあったからだ。 薬物問題とは別に(個人的に)ディープインパクトには二つの「嫌な感じ」を持った。一つ

ないか。 目に見えない何かがディープにまとわりつき、レース中にアクシデントでも起こるのでは

しかし、ディープインパクトの能力は、そんなアヤなど寄せ付けない、はるかに高い位置

ラストランの有馬記念を迎えた。前年より5万人ほど入場者数が減ったものの、当日の中山 にあった。続くジャパンCで海外GI・7勝のウィジャボードに2馬身半差をつけての楽勝。

競馬場は、足の踏み場もないほど大勢のファンが押しかけ、場内は熱気を帯びていた。 は女性ファンが半数近かった印象がある。それも若い女の子ばかりだ。 私が初めて有馬記念の中山競馬場に足を運んだ際は男性ファンが9割近かったが、この年

れたのか、いつも以上にゲートインで後ずさりしたスイープトウショウが出遅れた。後方3 ゲートイン直前、 場内のあちこちから「ディープ~!」の声が響いた。その熱意に気圧さ

ドマイヤメインが後続を8馬身近く離して逃げるも、3コーナー手前で進出を開始したディ 番手を進むディープインパクトはいつもと同じ脚色で1コーナーを迎える。ハナに立ったア ープが4コーナーで先頭に並びかけた。武豊がムチを入れると後続を瞬く間に突き離す。「こ

という声が沸き起こった。数年前の馬券オヤジの「差せ!」「そのまま!」という怒声ではな れが最後の衝撃だ!」という実況が流れたとき、 女性ファンの「負けるな~」という声援である。 場内のあちこちから黄色い「ディープ~」

難しさ」を教えてくれた感謝の意だった。 りがとうディープ」。それは、馬券オヤジの競馬雑誌編集者である私に「競馬のすばらしさと ース後に行われた引退式を終えて中山競馬場を去るとき、私は心の中でつぶやいた。「あ (小川隆行)



2 着との差は広がるばかり。ラストランも正に飛んでいた。

本文にも記された通り、GI・7 勝を挙げた名馬中の名馬は父とし ても 40 頭以上の GI 馬を送り出した。最高賞金獲得馬は GI・7 勝馬ジェンティルドンナ、これに次ぐのが現役馬グランアレグリ ア。ディープブリランテ、マカヒキ、ワグネリアン、キズナ、ロ ジャーバローズ、コントレイル、シャフリヤールと日本ダービー 優勝馬は7頭に上り、JRA 重賞勝利数は264(21年9月20日現 在) にも及ぶ。初年度の種付け料は 1200 万円だったが最盛期に は 4000 万円にも跳ね上がった。産駒の獲得賞金やキャラクター グッズ、入場者数、馬券売り上げなどをトータルすると、その経 済効果は500億円以上とも言われている。

ディープインパクト

性別牡

毛 色 鹿毛

生 業 2002年3月25日

死 没 2019年7月30日

■▼ サンデーサイレンス

母 ウインドインハーヘア (母父・Alzao)

調教師 池江泰郎(栗東)

生涯成績 12-1-0-1

獲得賞金 14億5455万円

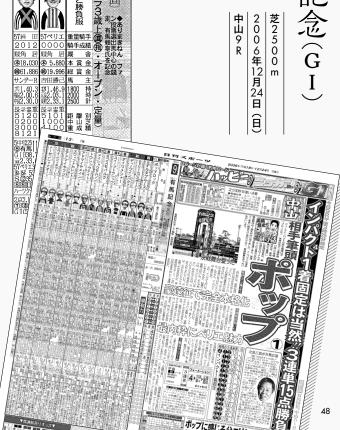
■ 皐月賞 日本ダービー 菊花賞 天皇賞・春 宝塚記念 ジャパンC 有馬記念 弥生賞 阪神大賞典 神戸新聞杯

第51回有馬記念(GI)

芝右2500m 晴 良 2006年12月24日 9R

								235 C C C C	
着順	枠番	馬番	馬名	性齢	斤量	騎 手	タイム	着差	灵人
1	3	4	ディープインパクト	牡4	57	盘齿	2:31.9		1
2	1	1	ポップロック	牡5	57	0.ペリエ	2:32.4	3	6
3	4	5	ダイワメジャー	牡5	57	安藤勝己	2:32.5	3/4	3
4	3	3	ドリームパスポート	牡3	55	内田博幸	2:32.5	ハナ	2
5	5	8	メイショウサムソン	牡3	55	石橋守	2:32.7	1.1/4	4
6	2	2	デルタブルース	牡5	57	岩田康誠	2:32.7	クビ	9
7	6	9	トウショウナイト	牡5	57	武士沢友治	2:32.8	3/4	10
8	7	12	アドマイヤフジ	牡4	57	武幸四郎	2:32.8	クビ	12
9	6	10	アドマイヤメイン	牡3	55	柴田善臣	2:32.8	ハナ	7
10	4	6	スイープトウショウ	牝5	55	池添謙一	2:32.9	クビ	5
11	5	7	コスモバルク	牡5	57	五十嵐冬樹	2:33.2	2	8
12	7	11	スウィフトカレント	牡5	57	横山典弘	2:33.3	クビ	11
13	8	13	ウインジェネラーレ	牡6	57	蛯名正義	2:33.6	1.3/4	13
14	8	14	トーセンシャナオー	牡3	55	勝浦正樹	2:34.0	2.1/2	14

第5回有馬記念(GI)



中山

有馬記念

父

(母の父) (母の父)

名性齢

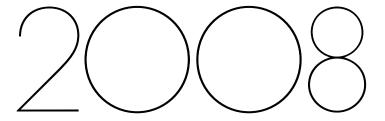
人鈴岡和高堀本 本山田橋内島



日刊スポーツ新聞社

昨年敗れた舞台も、ディープ勝利に疑問なし

2005 年に続き紙面ではディープインパクトの一強ムードで、相手探しをするレースとの見方が大勢を占めていた。「インパクト 1 着固定は当然!!」という見出し通り、4歳のディープは前年のリベンジを達成。凱旋門賞→ジャパンC→有馬記念と、今思えばタフな過程を乗り切った。内枠 2 頭はメルボルンCの1、2 着馬。加えて二冠馬メイショウサムソンや地方の星コスモバルクなどが参戦した、稀に見る好メンバーの有馬記念だった。





21世紀は、

女性の時代だと言われる。

起こり、それは世界的な潮流となっている。 取り戻す時代。女性の権利回復、あるいはその尊厳を守るための多くの社会運動などが巻き それは、これまでの歴史において虐げられてきた女性が、その権利と尊厳、そして輝きを

牝馬が、世界各地で同時多発的に現れ、時代を象徴していった。 同じように、大きなうねりを巻き起こしていく。21世紀に入り歴史的名馬と称されるような 競馬が社会の縮図なのか、社会が競馬の縮図なのか。その時代の潮流は、競馬においても

録を打ち立てた。その潮流は日本においても例外ではなく、 に輝き、 ではレイチェルアレクサンドラとゼニヤッタが09年、10年と続けてエクリプス賞年度代表馬 欧州ではザルカヴァが3歳牝馬として26年ぶりに2008年の凱旋門賞を制し、アメリカ また豪州ではブラックキャビアが09年のデビューから25戦全勝という途方もな 97年の天皇賞・秋を制したエア

グルーヴを嚆矢として、牡馬に混じっても一線級の活躍をする牝馬が目立つようになる。

じめ、 だダイワスカーレットは、 04 |年に生を受けたダイワスカーレットもまた、 多数のオープン馬を産んだ名牝、 幻の三冠馬とも称されたアグネスタキオン。母は、 同世代のウオッカと名勝負を繰り広げながら、時代を彩っていく。 スカーレットブーケ。その選良たちの血を受け継 その大きな時代のうねりとともに現れた。 GI・5勝のダイワメジ ヤー ・をは

競馬 年は、 馬を歯牙にもかけず、 そのウオッカとの直接対決を制した、07年の桜花賞と秋華賞。エリザベス女王杯で古馬牝 史に残る名勝負を繰り広げる。 怪我により春 の海外遠征を断念するも、 さらに有馬記念では歴戦の古馬を相手に連対。明けて4歳となった8 そして迎えたのが暮れのグランプリ、 天皇賞・ 秋ではウオッカ、 ディープスカイと 有馬記念だった。

P 年 わら -の瀬 ŧ かな冬の日差しに照らされた3コー 掸 ,し迫 った8年12月28日、 中山競馬 ナー奥で、 場 有馬記念のゲートが開く。

外

の 13

番

枠から出た1番人気のダイワスカー

 ν

ットは、

スタ

1

からの一、

身ほど前 正 面 スタンド前、 に出 る。 鞍上 2馬身ほどのリードを保って13頭を率いるダイワスカーレ の安藤勝己騎手は、 そのまま内ラチ沿いに導き先頭を確保する。 ット。番手に

前年の菊花賞馬アサクサキングスと四位洋文騎手が追走。2番人気に支持された前年の覇者

はカワカミプリンセスと、

GI·4勝

の実績のあるメイシ

ョウサムソンと武豊騎手、

そし

***番手** ハナに立った馬の直後=2番手につけること

二完歩で半馬

スラインといった上位人気勢は後方集団を形成し、 マツリダゴッホ、そして前走ジャパンCを制していたスクリーンヒーロー、 ドリームジャーニーは最後方からとい ある はアル ナ

馬体。 律を保って、その進路を導いていく。 た態勢。 安藤騎手は絶妙な手綱捌きでダイワスカーレ 淡々としながらも、 淀みのない厳しいペースでの逃げ。ダイワスカーレ 向こう正面に入り、再び冬の陽光を浴び ットの行く気を尊重 しなが 5 て躍 それでい ット の作 る栗毛 て規 り 上 の

げたレースだっ

は、メッセージ性にあふれていた。テンが速いから、他馬を怖がるから、牝馬だから、 う意味の逃げではなく、「ダイワスカーレットだから」という信念に満ちた走り。 ものだが、唯一、逃げだけが絶対的な主体性を持つ。ダイワスカーレットと安藤騎手の逃げ というのは不思議なものだ。競馬における脚質とは、他馬との関係性の中で決まる

らに メイ 師 ・ショウサムソンと武豊騎手が、 1 アサクサキングス、フローテーション、そして捲ってきた 走の夕陽に照らされながら先頭をゆく栗毛は、美しく、そしてどこか神々しか スは早くも3コーナーを迎え、後続馬が差を詰めていく。ラスト・ランとなってい あたりも勝負をかけ動いていく。しかし、 先頭のダイワスカーレットに並びかけようと仕 安藤騎手の手綱は微塵も動いていない。 マツリダゴッホ、 ス ヘクリ った。

と

Ĭ

口

1

ここまでのレースが序章に過ぎなかったかのように、伸びるダイワスカーレット。 ダイワスカーレット先頭のまま直線を向き、ようやくGOサインを出す安藤騎手。まるで、 2000

ゴール板よりもかなり前で、安藤騎手はステッキを持った右手を上げた。

ナーで差を詰めた後続馬は、それに並びかけることもできず、潰れて後退していく。 mを走破した先に迎える中山の急坂をものともせず、確かな脚でゴールへと伸びる。

ャーニーが続いて入線した。一方、4コーナーでダイワスカーレットを捕まえに行った有力 ナーク、 っての勝利は、史上初の快挙。2着には道中最後方から追い込んだ14番人気のアドマイヤモ 牝馬による有馬記念制覇は、 中団から脚を伸ばしたエアシェイディが3着、さらに同じく追い込んだドリームジ 71年のトウメイ以来37年ぶりだった。さらに1番人気を背負

その気高くも美しい強さに、暮れの中山を埋めた大観衆は、大きな拍手と称賛を送った。 馬たちは、 ない強さを際立たせていた。牡牝という性別を超えた、ダイワスカーレットという個の輝き。 軒並み潰されて掲示板を外す形となった。それが、ダイワスカーレ ットの底知れ

――それは、一人一人の女性が、自分らしく輝いた時代として、記憶されるのかもしれない。

女性の世紀。時が流れても、21世紀がそう記憶されるのであれば。

誰にも媚びず、誰にもおもねらず、誰にも委ねず、ただ、自分らしく。美しく、気高く、そ

して神々しく逃げ切った、あの08年有馬記念の、ダイワスカーレットのように。



ハナに立って一人旅。有馬記念で不利とされる8枠での勝利。2着は最低人気のゾロ目決着。

07年の有馬記念では半兄のダイワメジャーと 2、3着だったよう に、数々の活躍馬を輩出している一族。多くの怪我に見舞われつ つも、デビューから引退までコンビを務めた安藤勝己騎手ととも に、現役 12 戦全て連対という偉業を達成した。ダート戦への参 戦プランも浮上していたように、まだまだポテンシャルを秘めて いたであろう名馬。繁殖としては 10 頭連続で牝馬を出産すると いう珍事も。配合相手はチチカステナンゴやノヴェリスト、エン パイアメーカーなど多種多様で、今後牝系が大いに広がることに 期待が高まる。

ダイワスカーレット

性 別 牝

毛 色 栗毛

生 業 2004年5月13日~

■ ◇ アグネスタキオン

母 スカーレットブーケ(母父・ノーザンテースト)

調教師 松田国英 (栗東)

生涯成績 8-4-0-0

獲得賞金 7億8668万円

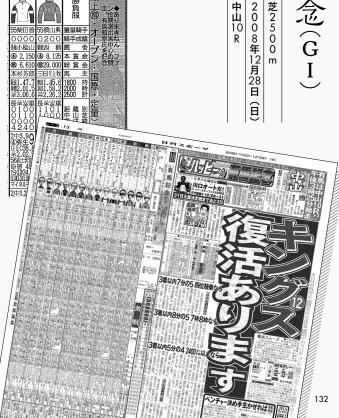
■ 有馬記念 桜花賞 秋華賞 エリザベス女王杯 産経大阪杯 ローズS

第53回有馬記念(GI) 芝右2500m 晴 良 2008年12月28日 10R

着順	枠番	馬番	馬名	性齢	斤量	騎 手	タイム	着差	人気
1	8	13	ダイワスカーレット	牝4	55	安藤勝己	2:31.5		1
2	8	14	アドマイヤモナーク	牡7	57	川田将雅	2:31.8	1.3/4	14
3	4	6	エアシェイディ	牡7	57	後藤浩輝	2:31.9	3/4	10
4	7	11	ドリームジャーニー	牡4	57	池添謙一	2:31.9	ハナ	7
5	5	8	スクリーンヒーロー	牡4	57	М. デムーロ	2:32.0	クビ	3
6	5	7	アルナスライン	牡4	57	0.ペリエ	2:32.2	1	5
7	1	1	カワカミプリンセス	牝5	55	横山典弘	2:32.5	2	6
8	6	9	メイショウサムソン	牡5	57	武豊	2:32.5	ハナ	4
9	4	5	フローテーション	牡3	55	C.ルメール	2:32.7	1.1/4	8
10	2	2	ベンチャーナイン	牡3	55	柴田善臣	2:32.7	クビ	13
11	3	3	コスモバルク	牡7	57	松岡正海	2:32.8	1/2	12
12	6	10	マツリダゴッホ	牡5	57	蛯名正義	2:33.1	1.3/4	2
13	3	4	エアジパング	t 5	57	藤田伸二	2:33.9	5	11
14	7	12	アサクサキングス	牡4	57	四位洋文	2:34.3	2.1/2	9

第 53 回 有馬記念(GI)

芝2500



(母の父)

٠Δ..



日刊スポーツ新聞社

1番人気が勝利も、3連単は98万馬券の大波乱

前年の2着馬であり連対率100%のダイワスカーレットだが、印としては 絶対的な支持を集めているわけではなかった。ただ、最内枠の牝馬、カワカ ミプリンセスが印を集めていることからも、牝馬が強い時代というのを感じ させる。このレースで後方待機策が功を奏し2着に食い込んだアドマイヤモ ナークは印がゼロ。馬連配当が294.9 倍になったのも頷ける。



「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、 行動機会提案サイトです。読む→考える→行 動する。このサイクルを、困難な時代にあっ ても前向きに自分の人生を切り開いていこう とする次世代の人間に向けて提供し続けます。

メインコンテンツ

ジセダイイベント

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月 開催中! 行動機会提案サイトの真骨頂です!

ジセダイ総研

着手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。 「議論の始点」を供給するシンクタンク設立!

星海社新書試し読み

既刊・新刊を含む、 すべての星海社新書が試し読み可能!

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

行動せよ!!!